

仕様書

ロボット・AI部

1. 件名

コロナ禍を踏まえたグローバルなロボティクスに関する政策等動向調査

2. 目的

昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、世界各国において、人との接触をなるべく避ける非接触化の動きが進んでいる。そのような中期待されているのが、ロボットの導入である。特に、中国においては、新型コロナウイルスを教訓にロボットの導入が急速に進められている。

その一方で、日本においては、自動車・電機電子といったFA分野以外の分野でのロボット導入はあまり進んでいない。非接触を進めている産業が今後の成長を牽引していく可能性があることを踏まえれば、日本としても多方面でのロボット導入を進めていくことが必要である。

そこで本事業では、コロナ禍を踏まえた世界各国のロボット導入等に関する政策およびロボット関連市場等の動向について調査を行い世界の状況を俯瞰することで、今後の中長期的な研究開発の方向性の検討に活かす。

3. 内容

下記(1)、(2)に記載のとおり、コロナ禍を踏まえた世界各国のロボティクスに関する政策やロボット関連市場等の動向について、公開レポート等からの情報収集や国内外の関連企業等への個別ヒアリング等を通じて、調査(情報収集、分析及び考察)を実施する。また、調査にあたっては、NEDOや外部有識者、経済産業省、関連機関等との密接な連携のもとで行う。

(1) 世界各国におけるロボット導入等に関する政策動向の調査

米中欧を中心とした世界各国を対象に、コロナ禍においてロボットの導入促進や開発支援を推進する政策とその取組状況の動向等に関する調査を行う。

(2) コロナ禍におけるロボット関連市場等動向調査

日本の他、米中欧や新興国を含めた世界各国における、コロナ禍を踏まえたロボット関連市場動向等に関する調査を行う。調査にあたっては、自動車や電機電子産業のような現時点でロボットの導入が進んでいる産業分野と、現時点でロボットの導入は進んでいないが、コロナ禍を踏まえロボットの需要が高まると予想されるサービス分野といった未活用領域の産業分野の両方に着目し、産業分野別に中長期的な観点も併せた市場予測等を行う。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から 2021 年 3 月 19 日まで

5. 報告書

提出期限：2021 年 3 月 19 日

提出部数：電子媒体CD-R（PDFファイル形式） 1枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。